

# コロナ無症状者にも PCR検査の拡大を

## 民生保健委 長岡ゆりこ議員が要求



長岡ゆりこ市議

談件数(同)は8339件、検査数は503件となっています。

長岡氏は、症状のある人への対処という基本的な枠組みと並行して、無症状者を特定して感染拡大を抑える枠組みが求められていると強調。検査体制の拡大のための日本医師会の緊急提言(8月5日)などを示した上で、「市民の健康と命を守るため、枠組みの見直しを含めた対応を」と求めました。

17日開かれた大阪市議会民生保健委員会で、日本共産党の長岡ゆりこ議員が、新型コロナウイルスの感染拡大を抑えるためにPCR検査体制の拡大・拡充を求めました。

大阪市のPCR検査の現状(1日当たり)は、検体採取が約1300〜1500件、検査は約1700件〜1900件。9月5日から11日までの相

大阪独自の対策がないと指摘しました。福祉局は「各種の支援策は(国の責任で)全国一律に実施すべきもの」と答弁しました。

長岡氏は、堺市などの独自施策の例を示し、大阪市には「いざというとき」のために使う、財政調整基金などの貯金が1300億円あると指摘。「大阪市廃止・分割の住民投票には10億円も使う。ため込んでいる1300億円を使い切っても、市民の命を守るための独自施策を行う方が重要だ」と力説しました。